

美点凝視

第 3 号

H 2 2 . 5

狭山台小学校

原 邦宏

一ヶ月が過ぎました

入学式・始業式から一ヶ月が過ぎました。

一ヶ月を振り返って、気が付いたことを書きたいと思います。

開校当初から良く耳にするのは、「狭山台南小学校」と「狭山台北小学校」の融和という質問です。

子どもたちの様子を見てみますと、もう、みんな狭山台小学校の児童です。子どもたちは、環境適応能力が高いですね。

例えば、体育着はそれぞれ違います。特に意識はしませんし、校舎のことは、始めは台南小出身の子どもたち

の方が知っているかもしれないと思いますが、それも時間の問題です。心配要らないと思います。

教師はどうでしょうか。教師は、台南小から転入した先生、台北小から転入した先生、市内・市外から転入した先生、それぞれ三分の一ずつの配置になっています。

それぞれの先生が、「新しい学校を作っていく」という気持ちで、頑張っています。

「台南小ではこうやっていた」とか「台北小ではこうやっていた」という言葉は聞かれません。ただ、子どもたちを理解している先生が居るのは心強いことです。

保護者の皆様はどうでしょうか。四

保護者と学校の連携について

保護者と学校の連携の大切さは、常に言われていることですが、具体的にはどのようなことなのでしょう。

保護者は家庭生活で、学校は教育活動で子どもたちとの関わりを持つのですが、それぞれの活動が、子どもたちとの関わりをプラスの方向に導く力を強める作用を持つことが連携なのではないでしょうか。

いくつか、ポイントをあげたいと思います。

- 学校は家庭を、家庭は学校をより理解する。
 - ・ 保護者と担任が連絡を密に取り合う。
 - ・ 子どもとの会話をとおして相互を理解する。
 - ・ 保護者会や学校公開には、なるべく出席する。
 - お互いを肯定的に評価する。
 - 子どもが、家庭や学校の批判をした時には、「お母さんは、あるいは先生はあなたを大切に思っているんだね。」と励まし、子どもたちの意欲を喚起すると共に保護者や教師の指導を支援する。
 - お互いの批判を子どもたちの前でしない。疑問や批判は、子どもたちの前でせず、直接連絡をする。
- 以上3つのポイントをあげましたが、保護者と教師が信頼関係に基づいた強い絆をもったときに、素晴らしい教育効果が上げられるものと確信いたします。協力していきましょう。

学校応援団について

月の懇談会のようなすはどうか。保護者の皆様についても心配していません。きっと素晴らしい融和を図っていただけのもと思えます。

「子どもたちのために」という目標に向かって、学校の教育活動や保護者の活動があるわけですが、各学校によってそのやり方に若干の違いがあるのは当然のことです。その小さな違いを埋めてともに活動する中で、共感が生まれ、融和が図られると思います。

「学校応援団」をどう存じでしょうか。狭山台北小学校、狭山台南小学校、いずれの学校にもありましたので、ご存じのことと思います。

ここで、狭山台小学校「学校応援団」を組織したいと考えております。

「学校応援団」とは、学校・家庭・地域が一体となって、子どもの育成に取り組むため、学校の協力依頼に基づいて、学校での教育活動を支援する保護者・地域の皆様によるボランティアの活動組織です。

どんな応援をしていただくかと申しますと、大きく分けると

- ① 学習への支援
- ② 環境整備の支援
- ③ 安全・安心への支援
- ④ クラブ活動の支援 等があります。
- ① 算数・英語等少人数指導
- ② 読み聞かせ
- ③ 郷土芸能伝承 等
- ④ 環境整備の支援では、
 - ① 樹木剪定、花壇除草
 - ② ビオトープ管理
 - ③ 図書整理ボランティア 等
 - ④ 安全・安心の支援では、
 - ① 登下校時の防犯パトロール

ご注意ください

五月二十七日から一泊二日で五年生の宿泊学習があります。五年生は、その準備に大忙しです。

新年度が始まって、一ヶ月での宿泊学習というのは大変です。クラスのみとまりが宿泊学習の正否を決めますが、その準備期間があまりにも短いからです。

それでも、五年生のクラスの様子を見ると、どのクラスも担任をしつかり見て学習する姿が見られます。落ち着いて生活しています。

きっと楽しく、充実した宿泊学習になると思います。五年生がんばれ!

② 地域ぐるみのあいさつ運動 等があります。

学校応援団に集まった声として、県で集計したアンケートの結果、子どもからは「ボランティアの方が親切に教えてくれたのでうれしかった。」

教師からは「地域ぐるみで学校を応援してくれるのでありがたいです。」

保護者からは「どの子も我が子として接していくなかで、地域が身近に感じられるようになりました。」

地域の方からは「自分の得意なこと、学校を応援できるので、やり甲斐を感じます。」などの肯定的な声が聞かれたということです。

本校でも、これからボランティアの募集のお知らせを各家庭や地域の皆様に配布したいと考えております。

是非御協力ください。よろしくお願ひいたします。

「公園に自転車遊びに行き、自転車で荷物を置いたまま公園で遊び、自転車で戻ると、荷物が無くなってしまった」ということが、続いて起こっています。

「遊びの時には、貴重品を持って行かない。」などの注意をお願いいたします。
